
譚屋～ハナシヤ～

クリームバニラ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

譚屋／ハナシヤ／

【Zコード】

Z5384P

【作者名】

クリームバーナ

【あらすじ】

譚屋。　お話を語るその人は、実際にいる？　いない？　それもお話。　そのお話は本当？　嘘？　どちらにしても、それは実現するお話。

(前書き)

勢いで書いた。

深い意味はない。

多分。

はなしや
譚屋。

それは、おとぎ話のような人なんだ。その人の望むお話を語つてくれるらしいの。

語られたお話は、世界のどこかで本当になるんだって。

でも、それが”いつ”、”どこの”で起るのかは、誰も知らない。もし、譚屋に話をしてもういたら、そのお話が本当になる場所、時間を必死に探すといよ。

だつてそうでしょう？

自分の望むお話が、本當になるんだよ？

漫画の中でしかないような素敵な出会いとか、ファンタジーな異世界召喚とか。

だから、みんな必死に、お話の主人公にならうとするの。

…え、胡散臭い？ 譚屋の話 자체がお話だ？

…そうかも。

でもや、もしの話を譚屋わんがした話だとしたら…、エリカ、本当にこるのかもよ？

”夢は見てこそ楽しい”… でしょ？

え、譚屋の特徴？

うーん…、それがね、いろんな人に化けてお話しするんだって。だからね、仲好しの友達がいきなり変な話したら、それが譚屋かもしないよ。

… 譚屋がどうか確認する方法？

多分だけど、絵本とかになつてない話を、区切りず全部お話ししたら、その人だよ。あくまで多分。
だってさ、お話なんていきなり語りたりしないでしょ？

… エリの話は誰から聞いたのかって？

噂だよ、噂。

今日の朝に立ち聞きしたの。

ほんとだよー、あたしさ譚屋じゃないって！

でもや、本当にいたら楽しそうだよね、譚屋。

あたしもお話してほしいなあ。

あ、そうや。

『お話の登場人物は、お話が終わったらどうなる?』

「…は?」

「これもや、朝立ち聞きしたの。面白くない?」

「…逆に怖いよ。お話が終わったら登場人物は消える、とか?」

「あ、それいいね」

「いいの?」

「だつて関係ないじやん」

「まあ、もうだらだら」

『お話が終わつても、登場人物は生きていぐ。だけど、現実（本当のお話）には戻れない……』

あなたの今いふことは、現実？ それとも、お話？

諱屋が語つたお話は、知らない所で続いている……

(後書き)

『あなたの近くの誰かが突然お話を語つたら、その人は譚屋かもしれないよ』

『どこかで語られたお話が、いつのまにか自分を巻き込んで実現するかも』

『でも、それには気づかない』

『だつて、お話の中に語り手はないから』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5384p/>

譚屋～ハナシヤ～

2010年12月25日18時06分発行